平安時代 正誤問題　解答

名前　　月　日　　点

正誤問題（6問）

1　正しいものを1つ選びましょう。　ア

ア　空海が高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。

イ　天皇が幼いときは摂政が政治を代行し、天皇の成人後は執権が政治を補佐した。
→ 正しくは「関白」

ウ　10世紀の中ごろ、平清盛が関東で反乱を起こし、みずから「新皇」と名のった。
→ 正しくは「平将門」

エ　遣唐使の停止後、日本独自の文字として甲骨文字が発達した。
→ 正しくは「かな文字」

2　誤っているものを1つ選びましょう。　ア

ア　平安時代の後期、伊達氏が平泉を本拠に約100年にわたって東北地方で栄えた。
→ 正しくは「奥州藤原氏」

イ　894年、菅原道真の意見で遣唐使が停止された。

ウ　平清盛は、日宋貿易のために大輪田泊を整備した。

エ　藤原頼通は、浄土信仰を表す阿弥陀堂として宇治に平等院鳳凰堂を建てた。

3　正しいものを1つ選びましょう。　イ

ア　1185年、源義経らが屋島の戦いで平氏をほろぼした。
→ 正しくは「壇ノ浦の戦い」

イ　794年、桓武天皇は政治を立て直すため、都を京都の平安京に移した。

ウ　10世紀の中ごろ、源頼朝が瀬戸内海で海賊を率いて反乱を起こした。
→ 正しくは「藤原純友」

エ　源頼朝が桓武天皇から征夷大将軍に任じられ、東北地方の蝦夷を平定した。
→ 正しくは「坂上田村麻呂」

4　誤っているものを1つ選びましょう。　ア

ア　藤原氏は娘を天皇のきさきにして勢力をのばし、院政を行った。
→ 正しくは「摂関政治」

イ　最澄が比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広めた。

ウ　荘園に国司の役人が立ち入ることをこばむ権利を不入の権という。

エ　紫式部は、かな文字による長編物語の源氏物語を書いた。

5　正しいものを1つ選びましょう。　ア

ア　白河上皇は、天皇の位をゆずったあとも院政によって政治を行った。

イ　平清盛は、広島県の伊勢神宮を一族の守り神として信仰し、社殿を整えた。
→ 正しくは「厳島神社」

ウ　1159年の保元の乱で平清盛が源義朝を破り、平氏が力をのばすきっかけとなった。
→ 正しくは「平治の乱」

エ　1156年、天皇と上皇の対立に貴族や武士が加わり、京都で平治の乱が起こった。
→ 正しくは「保元の乱」

6　誤っているものを1つ選びましょう。　エ

ア　桓武天皇が律令政治を立て直そうと、平安京へ都を移した。

イ　清少納言は、宮中の生活をつづった随筆の枕草子を書いた。

ウ　藤原道長が「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば」とよんだ。

エ　荘園の領主は、国に税を納めなくてよい不入の権を手に入れた。

→ 正しくは「不輸の権」